

田頭小児童の愛情たっぷり一等米「いわてっこ」を販売

僕たち、わたしたちが作った新米を格安で販売



一等米の「いわてっこ」1袋(1.5キロ)を格安の500円で販売

農業と商業の仕事を学ぼうと、田頭小学校(高橋知子校長、児童138人)の5・6年生は、学校田で栽培した米の販売体験を行いました。



道の駅にしね前の国道脇で、ドライバーにPRする田頭小の6年生。「お米買ってくださーい」



わたしたちが作った「いわてっこ」は、とってもおいしいよ。おひとついかがですか

販売を開始しました。呼び込み係は、道の駅入口の国道脇に陣取り、「最高の一等米いわてっこ、元気・おいしさ100倍。安いよ」などと書いた紙を手に、道行くドライバーにPR。販売係は、「わたしたちが心を込めて作ったお米はおいしいですよ。一ついかがですか」と呼び掛けました。

みんなの作品

～寺田小～



1年 中村 友哉くん



「うさぎをだっこしている」



4年 遠藤 美咲さん・彩香さん



「 ティンクル一家 」



6年 工藤 朋也くん



「 やまなし 」

女性美を追い求め 多彩な才能が開花



ZOOM UP

「入賞するなんて信じられない。うれしい」と彼女は無邪気な笑顔を見せた。初めて応募する第43回全国ファッションデザインコンテストデザイン画の部(17年10月22日)で6751点の中から努力賞に輝いた。応募のきっかけは盛岡で開催されたデザイン講習会。洋服に興味があったが本格的にデザインを学ぶのは初めてで、無心で1枚のデザイン画を書き上げた。ここで講師の一言が転機となる。「コンテストに応募してみないか」彼女の才能が開く瞬間だった。「デザインは『蜘蛛』がモチーフ。シンブルだけど豪華に見えるように書いてあるうちに、イメージが頭の中でどんどん広がりました」と振り返り、「時間があれば今回の作品を洋服にして、自分で着てみたい」と照れ笑った。好奇心旺盛な彼女は、「美を追求したい」というモットーのもと、次の夢『エステティシャン』の道へとすでに歩み始めた。

山内麻祐子さん

●さんない・まゆこ 西根中学校卒業後、平館高等学校家政科に進学。現在3年生。サッカー部のマネージャーとして、部員たちを支え続けたほか、家庭クラブの会長を務め、リーダーシップを発揮。趣味はショッピング。「好きな服を自分らしく着こなしたい」と流行には流されないファッションポリシーを持つ。好きなデザイナーは「津森千里」さん。両親と弟の4人家族。血液型O型。大更地区。

広報クイズ No.4 1月5日号の問題

スキーシーズン到来。市内のスキー場数は?

正解者の中から抽選で3人の方に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。
◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募期限 1月20日(金) 消印有効
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」
☆はがき ☎028-7192(住所不要) ☆ファクス ☎75-0469
☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp
*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。
◎第3回の正解 「12回連続出場」 ◎応募者数 16人 ◎正解者数 16人
◎当選者 山崎美沙都さん(平館)、高橋ひさよさん(柏台)、伊藤勇さん(松尾寄木)